



青 於

10月号



シェイクアウト訓練 (9/25)

学校だけでなく、学校以外の場所でも地震が発生したときに、「自ら判断し、自ら身を守る行動が取れる」ように、昨年の2学期から学期に1回この訓練を行っており、今回で4回目になりました。短い時間で訓練を行うことができ、とても効果があるので、子どもたちは、訓練を重ねるごとに、上手に避難できるようになってきています。



3年科教センター (10/1)

3年生が初めて科学教育センターに行き、理科の学習を行いました。プラネタリウムでは、太

陽の動きと秋の星座を学習し、理科室では、昆虫の体のつくりについて学習しました。また、学校にはない大型で高性能な実験・観察装置が設置してあり、実際に体験しながら学べるようになっているので、子どもたちはとても楽しかったようです。

就学時健診 (10/2)

「心身の健康状態を把握する」「健診で疾病などが見つかった場合は、必要な治療を受け

て、健康な体で入学式を迎える」という2つの目的で健診が行われます。皆様のご協力により、スムーズに健診を行うことができました。ありがとうございました。



読み聞かせ (10/9)

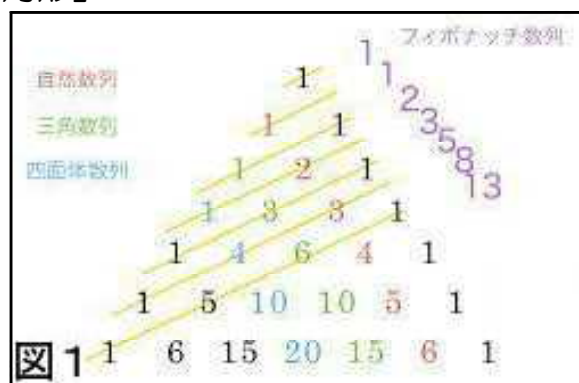
さいこうクラブの方をお招きして、読み聞かせを行いました。

1年「オオカミのひみつ」「うわのそららいおん」、2年「五分次郎」、3年「かぜのでんわ」「おかあさんありがとう」、4年「海の水は、なぜしょっぱい」、5年「めくらぶどうと虹」「せかいのはてのむこうがわ」、6年「クモの糸」



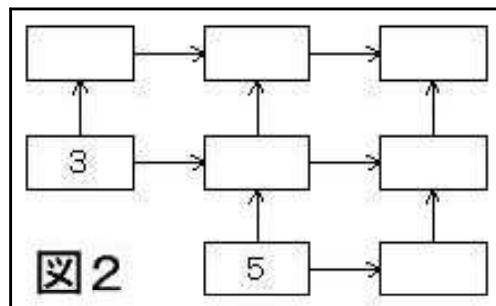
朝会の話(10/7)「パスカルの三角形」

パスカル(1623～1662)は、フランスの物理学者・数学者で、「パスカルの原理」や「パスカルの三角形」などを発見したり、「人間は考える葦(あし)である」などの名文句を残したりしたことでも有名な人です。また、大気圧(圧力)の単位(hPa)などにも、パスカルの名前が使われています。そのため、フランスでは大変な有名人で、以前、フランス紙幣(500フラン)の肖像にも使われたことがありました。



「パスカルの三角形」(図1)について話をしました。この三角形は、単純なルールに基づいて作られています。まず最上段に1を配置し、それより下の段にはその位置の左上の数と右上の数の和を配置します。例えば、5段目の左から2番目には、左上の1と右上の3の合計である4が入ります。この作業を繰り返すことで、「パスカルの三角形」を作ることができます。この三角形の性質として、斜めの行を見ると、2行目に「自然数」、3行目に「三角数」(正三角形の形に点を並べたときに、そこに並ぶ点の数)などが表れます。また、図1のように斜めの数を引くと、その和がフィボナッチ数になっています。この三角形には、まだたくさんの性質がありますが、話が難しくなるので省略します。

この三角形の話を説明したあと、「パスカルの三角形」の変形バージョンの問題(図2)をみんなで解きました。



家庭教育学級(10/9)

今日の研修は、デコパージュです。

デコパージュとは、紙に描かれた絵や模様を切り抜いて、バッグやシューズなどに貼り、コーティングを塗り重ねてオリジナルアイテムを作る手芸のことです。講師の先生の指導のもと、親子で協力して、オリジナルのバッグやティッシュケースを作りました。研修の後、給食の試食会を行いました。



栃木県防災館と日産栃木工場の見学に行きました。防災館では、突然の災害時に正しい行動をとれるよう、地震・火災・大雨・大風などの疑似体験をしました。日産工場では、ホールに展示されているGTRなどの高級車に試乗したり、車の仕組みや内部が間近で見られる車の製造ラインを見学しました。インターパーク東側にあるみずほの自然の森公園で、昼食をとりました。

5年社会科見学(10/10)

